

空気鉄砲作りと竹はし・お椀作り体験



▲(右上)「まつやま塾」の始まりは、黙想して心を整える。(上)空気鉄砲づくりでは木の実を集め、小刀を使って製作する。(下)竹のはしとお椀作りに挑戦する子どもたち。握りやすく、食べやすい形かな？

9月9日(金)は、空気鉄砲作り。昔ながらの遊びを自分たちの手作りおもちゃで楽しむことと小刀などの道具を使って物を作る技術を習得することを目的に学習しました。

作る前に、空気鉄砲の仕組みについて子どもたちは検討。筒の大きさ、棒の長さ、中に詰める木の実の大きさなどをどうするか考えて、製作に着手しました。初めに木の実を採取して、小刀で竹を切り、手ごろな長さにそろえました。1年生など、今

年から初めて「まつやま塾」に参加した子どもたちは、地域の皆さんの指導を仰ぎながら作りました。できた鉄砲は大きな音を立てて木の実を飛ばすことができました。

9月14日(水)は、16日(金)に実施するそうめん流しの準備として、竹ではしとお椀を作製しました。竹をどう削れば、自分が食べやすいはしの形になるのかを考えながら、子どもたちは小刀を使って自分が愛用するはしとお椀を作りました。

体験が子どもたちの力になる

「まつやま塾」での体験学習の取り組み

地域の歴史散策 ～南三箇の史跡巡り～



▲(上)南三箇の史跡巡りで、史跡説明の講師を務めた久米さん。(下)南三箇阿弥陀堂では、地域に感謝してお参り

9月21日(水)は、地元の地域にある史跡を見学する歴史散策。自分たちの地域とその歴史を実際に見て知ること、ふるさとを愛する心と育てることを目的に学習しました。

今回は、乙女小学校から歩いて回る南三箇の史跡3か所を見学しました。

講師に、町文化財保護委員を務める久米壯亞さん(麻生原区)を迎え、最初に南三箇水天宮を訪問。水天宮が設けられたころの南三箇の歴史に

ついて話を聞きました。

次に、南三箇阿弥陀堂を見学。久米さんから阿弥陀如来についての説明や、コーディネーターの宮本松雄さん(南三箇区)から御堂が立っている場所が昔の主要な道路沿いであつたことを聞いて、子どもたちは手を合わせてお参りしました。

最後に、竹林を分け入って、南三箇六地藏を見学。六地藏の役割や設置当時の南三箇について説明を聞きました。

地域社会の皆さんとともに
はぐくむ子どもたちの力

放課後子ども教室「まつやま塾」は、平成20年度に子どもたちを取り巻く学習環境をサポートして、子どもたちの伸びる力をはぐくむための取り組みとして始まりました。子どもたちの力を伸ばすためには、地域社会の人々が親身になって関わるのが良いのではないかと考え、平成21年度からは、一般の社会人、特に定年退職した人でいろいろな経験と関心のある人を誘って参加していただいています。

大人と子どもたちが一緒に
体験することでの触れ合い

「まつやま塾」では、地域の皆さんが先生のように児童に指導し教えるという関係ではなく、子どもたちと一緒に活動に取り組んで体験する関係を築くようにしています。子どもたちに手



が必要となときに、手を貸してあげる関係です。

なぜなら、地域の皆さんや子どもたち同士が体験を通してコミュニケーションを取ることで、子どもたちの社会性を育て、1対1の関係で触れ合うことの大切さを子どもたちに感じてもらいたいからです。昨年あたりから、地域の皆さんの参加も広がり、これまで農業体験が大半でしたが、文化的なことや科学的なこと、歴史的なことなどに



ついても体験学習の幅が広がっていて、地域全体で育てる気持ちがあふくらんできています。

社会の中で強く生きる力を
身に付けるための体験学習

どうして、体験が大切かというと、私自身も子どものころに遊びの中で体験したことが、年を重ねるにつれて役立つことが多かったからです。子どもの遊びを通して心と体で感じたものが、その後の学校での学習や社

さまざまな体験を通して、子どもたちの豊かな心と力を育ててあげたい。将来、どの道に進んでも、体験ではぐくんだことが、伸びる力や希望を見る力、未来を切り開く力になる。



コーディネーター
宮本 松雄さん
(南三箇区)

会などでの経験を通して深く理解できたときに、さらに力として身に付くとともに、体験として夢があふくらむのです。そして、体験活動は、体験そのものも大切であると同時に、植物の育て方、物の作り方などを通して、教科学習の延長線上にあるものも感じてほしいと願うのです。

また、こういう体験に取り組んだら、今後の社会で役に立つのかという視点で子どもたちに体験させたいと考えています。

新たな発見を繰り返して日々成長する子どもたちの姿

子どもたちには難しくできないだろうと心配することも、地域の皆さんと子どもたちと一緒にアイデアを出して一生懸命に取り組んで達成できたとき

非常にうれしく思います。特に、子どもたちがアイデアをひねり新たな発見をしてくれると、子どもたちが伸びていることが実感できて、手伝う側としても面白くなってきます。

今後は、もっと地域の皆さんの参加を増やして、子どもたちと関わるのが、どれほど面白いものかということを感じてほしいです。

体験を通して伸びていく
子どもたちが切り開く未来

体験学習は、子どもたちが、将来どの道に進むとしても、伸びる力、希望を見る力、切り開く力になると思うのです。これからも「まつやま塾」で、子どもたちが心を燃やせる体験をお手伝いしていきたいです。

